

2025年8月1日

幼保連携型認定こども園 YMCA 保育園 8月えんだより

8月聖句：「わたしの名によって集まるところにはわたしもその中にいるのである。」

＜マタイによる福音書 18章 20節＞

朝からセミの鳴き声の大合唱が響く保育園です。セミの抜け殻を大事そうに見せてくれる子どもたち、園内の木々に上手に隠れているセミを見つけ、先生と一緒に夢中になって虫取りをする姿に、本格的な夏の到来を感じます。ただ、そのセミも、朝の登園時までは賑やかに鳴いていますが、日中のこの異常な暑さの中では、園庭も静まり返り、鳴き声が聞こえなくなります。セミは、ある気温（35度）を超えると、体力温存のために鳴かなくなるそうです。セミの鳴く時間が次第に短くなっていることから、地球温暖化への危機感を覚える日々です。保育園での水遊びやプール遊びは、子どもたちにとって夏ならではの大切な体験であるため、気候や環境への配慮をしながら、これらの活動も工夫して続けていきたいと思います。

今月の聖句には、「二人または三人がわたしの名によって集まるところには、わたしもその中にいる」とあります。教会はもちろんのこと、私たちのYMCA保育園も、イエスさまの名によって集まる場所です。それは特定の場所に限らず、誰かと共に集まり、祈り合うときに、イエスさまは共にいてくださるということです。

同時に、人は決して一人では生きていけない存在でもあります。たとえAIから瞬時にさまざまな情報やヒントを得られる時代になっても、それだけでは人と人との深いつながりには代えられません。また「二人、三人」と人が集まると、そこには価値観、生まれ育った環境、文化、置かれている社会的状況など、それぞれに違いがあります。たとえ家族であっても、「違い」を感じることはあります。でもそれは「間違い」ではなく、「個性」です。その違いを認め合い、利己的な思いではなく、誰かのために、あるいは他者と共通の目的に思いを寄せるとき、そこにイエスさまは共にいてくださいます。

「八月や、六日、九日、十五日」という俳句を耳にされた方もいらっしゃるかもしれません。私たち自身は戦争を経験していませんが、身近な人生の先輩方や報道を通して、今年が戦後80年という節目であることに思いを馳せる夏でもあります。

互いに違いがあっても、「平和を願う心」「祈りを重ねる姿勢」はきっと共にできます。その祈りの中に、イエスさまも共におられ、祈りに応えてくださると信じています。

年主題：「ともに」 年主題聖句：「わたしはあなたと共にいる。」（イザヤ書 43章 5節）

8月	乳児（0,1,2歳児）	幼児（3,4,5歳児）
月主題	ゆったりと	祈りの中で／祈りあう
	・神さまやまわりの人たちに愛されていることを全身で感じる ・家族や保育者とゆったりと過ごし、楽しいことをみつけていく ・いろいろなものに触れ、五感で感じる ・まわりの人に愛され、神さまに守られていることを感じる ・家族や保育者、友だちとゆったりと過ごし、心が満たされる ・夏の生活を五感で感じる	・いつでもどこにいても、神さまがともにいてくださることを覚え祈りあう ・いつもとは違う、ゆったりとした環境の中で、異年齢の関わりや好きな遊びを通して思いが広がる ・夏の野菜や果物を収穫し、味わったりする。虫などに触れ自然の恵みに感謝しながら過ごす ・神さまに感謝し、神さまの創られた世界や神さまが私たちに与えてくださっている人を大切に出来るよう祈りあう。 ・一日の中に「動」の時間と「静」の時間を持ち、躍動することもまったりと落ち着いて過ごすことも大切にする。友だちとの遊びもひとりでの遊びも楽しむ
讃美歌	ちから 幼児讃美歌Ⅱ 15	ちいさいひつじが こども改 55